

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課
			実施期間	H16～	E-mail	nogi.pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 4-5 地球環境への貢献					



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ・環境農業及びGAPは、理解度が向上するとともに取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりが不十分である。 ・防除が困難な新たな病害虫の発生に対し、的確な情報発信と防除指導を行うとともに、農薬の使用においては、一層の安全使用指導が必要である。
	【目指す姿】 ・GAPの取組を基礎に、食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く展開されている。 【実施内容】 ・より高いレベルのGAPの取組を拡大、環境保全型農業直接支払の拡大

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
		前年度繰越	11,826													
1	国際水準GAPの取得件数(件数)	15	28↗	45↗	30	達成	予 算 額	現計予算	213,008	83,610						
2	化学肥料・化学合成農薬を5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積(ha)	553	602↗	571↘	655	未達成		合計(A)	224,834	83,610						
3								うち一般財源	22,529	20,753						
4								決 算 額(B)	242,313	75,962						
														職員数(人)	18.5	18.5

成果指標設定理由	①国際水準GAPを取得したトップランナーの増加から、食品の安全確保や環境保全の取り組み状況について評価できるため ②化学肥料や化学合成農薬に依存しすぎない環境と調和した”環境農業”の普及状況が評価できるため
----------	--

達成状況の分析	①国際水準GAPの取得件数は、東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供意欲の高まりやGAP指導員による組織的な普及推進により、目標を上回った。 ②化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積は、気象変動や災害等により農薬の使用回数が削減できなかったこと等の理由により、目標に達しなかった。
---------	--

主な取組	○ 国際水準GAP認証取得支援 ・GAPの実践を支援するGAP指導員を育成するとともに、ASIAGAP、JGAP認証取得に際し、コンサルタントの導入や認証審査を支援。	
	○ 農薬の安全使用を推進 ・農薬適正使用研修会を開催するとともに、農薬安全使用のリーダーとなる農薬管理指導士を認定。	
	○ 有機農業推進プラットフォームの設立及び活動支援 ・有機農業に関心がある生産者、実需者、消費者等で構成する有機農業推進プラットフォームを設立し、研修会を開催。	

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> GAP・環境農業に取り組む農家は増加しているが、幅広い生産者、実需者、消費者への認知及び理解が十分でない。環境にやさしい農業技術の普及が進んでいない。 新たな病害虫や防除が難しい病害虫が増加しており、防除対策の確立と情報提供が必要である。 農薬の適正使用を推進しているが、残留基準値超過や飛散等の事例が発生しており、農薬使用者への周知を更に進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSや研修会を通じて幅広い生産者、実需者、消費者の認知度及び理解度の向上を図っていくとともに、実証ほ場等を通じて環境にやさしい農業技術の普及を推進する。 侵入警戒調査や発生予察により、的確な情報発信と防除指導を実施する。 広報媒体の活用や研修会により、より一層の農薬の適正使用について呼びかけるとともに、農薬管理指導士の認定を通じて地域のリーダーを育成する。

事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	GAP・環境農業総合対策事業	11,735 千円	11,303 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	GAPの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員の育成（85名） ・GAPスキルアップ研修の実施（2回） ・国粋水準GAPコンサル、認証取得支援（8件）
2	環境農業の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州の環境にやさしい農産物認証制度の運用（330件、1831ha） ・環境にやさしい農業実証事業の実施（実証ほ場6カ所）
3	有機農業参入・実践支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックアカデミーの開催（15講） ・有機農業推進プラットフォームの設立（登録会員数283名） ・研修会の開催（3回）

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	環境保全型農業直接支払事業	27,429 千円	27,245 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組（87件、571ha）に対する交付金

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	植物防疫事業	201,160 千円	35,485 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫発生予察ほ場の設置及び調査（43ヶ所） ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入 ・輸出検疫協議を迅速に進めるための病害虫発生調査（5種類）
2	病害虫防除所運営費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除所の設置及び業務の運営
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ミバエ等の侵入警戒調査（507ヶ所） ・テンサイシストセンチュウ防除の実施（39.5ha） ・薬剤耐性リンゴ黒星病の発生状況調査及び防除対策

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	農薬安全使用対策事業	1,989 千円	1,929 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の推進（研修会3回） ・マイナー品目の農薬登録拡大（4剤） ・環境モニタリング調査の実施（1ヶ所）